

退職者 NO.107-
こだま会報



集団的自衛権NO! 武力で平和は築けない



日向薬師から七沢温泉の間の展望台（七沢リハを展望）

今号の紙面

- ・コラム散歩道 …… ①
- ・日向薬師散策&ビール工場見学／おすすめの1冊 …… ②
- ・こだま俳壇／歴史教室・講義／予告 …… ③
- ・会員紹介（野間博子さん）…… ④
- ・県職員九条の会総会と平和の集い／こだま会総会案内 …… ⑤
- ・第10回輝け高齢期かながわの集い／人間ドックの案内 …… ⑥
- ・食文化を楽しむ会／神奈フィルサンクスコンサート …… ⑦
- ・絵手紙／こだま句会吟行 …… ⑧

アベノミクス宣伝と対抗し、「年金下げるな」「最低保障年金を」の署名のとりくみでは、全国で29万筆を集めています。少子高齢化で、私

税1年半後の増税・社会保障改悪と日本経済の沈没目前の危機感で、憲法9条を守るとりくみを、80歳を超えた超左派運動家と早朝宣伝を続け、早数年、1、2回の寝坊による欠席もありましたが、「健康維持」と「継続は力なり」との思いで、頑張っています。

『つぶやきひろし』の一言

谷村 寛



写真は「10・25かながわ大集合」

在進行形で海老名市では、公共施設利用の有料化の先取りとして、駐車場使用料、会館使用料、図書館の在り方検討で喫茶店、キッズコーナーを併設し、指定管理者制度を利用して、民営化する動きが活発化しています。

化していることと思いますが、「楽しく、おおらかに」をモットーに、こだま会の面々の持ち味を生かした、大いなる活躍を期待して『つぶやきひろし』の一言とします。

散歩道
 昨年暮れは突然の解散総選挙で、あわただしい年の瀬を迎えました。皆様、いかがお過ごしでしたか。小生は勇躍腰を上げて、県央・県北地域の活動に本腰を入れました。

私たちのくらしがどうなっているか。日本人の平均寿命が80歳を超えたいま、70代突入の小生は場所を地元に着させつつ、皆様とともに後期高齢者を乗り切る所存の今日この頃です。

県職労連やこだま会の奮闘を期待しています。現職の頃とは大きく変化している

※会員の皆様へお願い…住所を変更された時は事務局までご一報を。045(212)3179まで

おすすめの1冊 

『八法亭みやっこ
の憲法噺』
飯田美弥子 著

800円+税



広場の一角にテント(50人ほど)。和服姿の飯田さん。「聞いて行ってください」。題は「八法亭みやっこの憲法噺」テーブルの上に座布団「不安定ですねー」。話し始めると、笑いの渦。
ところで、本の紹介でした。「そうだ、落語でやってみよう」「憲法13条にも手を出さ

うって?」「国を愛するということ」「日本国憲法で何が悪い!」「取り戻すって何を?」他。
著者は飯田美弥子さん(弁護士。ハンセン病、高尾山にトンネルを掘らせない…、再審布川事件、痴漢えん罪の各弁護団ほか)
発行は花伝社、発売は共栄書房。
2014年5月3日刊。

(岩柳良雄)

秋の日向薬師と地ビールを満喫



セルバジーナのランチとビールをいただきました

てく・テクの会



七沢の川沿いの黄葉が見事!!



福元館の離れ(1931年約1か月、小林多喜二が逗留)

こだま会でてくテクの会は昨年の11月27日(木)、「秋の日向薬師と地ビール見学会」を実施。当日は、雲ひとつない晴天に恵まれました。小田急伊勢原駅に午前10時に13人が集まり、

バスで日向薬師へと向かいました。バスを降りてから薬師堂へは石段が続き、その石段を黄葉・紅葉の落葉が埋めていました。

多喜二宿暮らし忍ばす置炬燵

薬師への石段埋める落葉かな
冬紅葉静かに深く山を染め

黄葉・紅葉の重なりは射し込む光にも映え、深まる冬山の景を見せていました。この時期に日向薬師に、しかも晴天の日に来られたことに喜びを感じました。

あとは、冬日を浴びながらだららと下って、途中訪れたのは作家・小林多喜二が逗留した「福元館」。外からガラス越しに見学しました。

多喜二宿暮らし忍ばす置炬燵

最後は小金井酒造イタリアレストランでの昼食です。先ずは、地ビールでこの日が誕生日という参加者がいて、二重の乾杯をしました。
歩いた後の生ビールは、胃にしみわたりました。

(鳥田多嘉子)

こだま俳壇(1月)

朗らかに老い詠む友の賀状かな 松尾佐知子
 沖繩の心のたしか冬銀河 鳥海 敏雄
 クレーン立つ市街化農地冬の月 小川 水草
 冬銀河温めしオカリナ一吹きす 木村 武子
 冬枯に茶色の猫の動きけり 友井 眞言
 シクラメン迷わず赤を選びけり 高橋 和江
 森閑と更けゆく野良の冬の月 松本 正治
 どきどきも華やぎもある初句会 白井保次郎
 荒れ庭の墨絵となりぬ雪の宵 柳瀬 節子
 寒月や母ゆずりなるだんご汁 横川美代子
 友送るハングルの詩や冬北斗 坂 守
 足早の夫の後行く福詣 島田多嘉子
 秋の夜ひ孫生まれしたよりあり 鈴木志げ子
 両肩を張りてオリオン動かさる 田中 一男
 亡き夫の顔に隠れし寒の月 中村 桂子
 寒月光一間の清澄無心なる 三井 光子
 お正月外で遊ぶ子はどこに 井村 友彦
 冬銀河野鍛冶調子上げてくる 太田 土男

第58回 歴史教室 (講義)

小田原北条氏五代

県庁本庁舎6階会議室で11月27日、13時30分から15時30分。講師は生方武羅夫氏。出席者は3人。

◆はじめに

小田原城に君臨した小田原北条氏は、小田原評定や秀吉の小田原攻めまで有名だが、伊豆から関東の一部を治めていたことは、案外知られていない。

◆北条早雲の出自

早雲の出自は謎めいていたが、最近の有力な説で明らかになった。京都伊勢氏一族・伊勢新九郎盛時である。康正2年(1519)、64歳で没している。なお、生前は「北条」ではなく、「伊勢早雲庵」、「早雲庵宗瑞」と称していた。

早雲は妹(北側殿)の嫁ぐ駿府今川家の内紛につけ入り、駿府に入った。また、伊豆堀越公方(鎌倉公方足利家)の内紛に乘じ、伊豆を平定し支配した。

さらに、相模國小田原城主大森氏を急襲し小田原城を攻略した。以後、関東一円に勢力を伸ばし、甲斐・信濃にも進



小田原城

出している。

◆小田原北条氏の領国の形成と経営
 小田原北条五代は、早雲・氏綱・氏康・氏政・氏直と続き、秀吉の小田原攻めにより氏直で断絶した。しかし、五代の当主による揺ぎない領政が行われていた。虎の印判状による支配、二代氏綱による北条氏への改姓、鎌倉八幡宮の再建、検知などである。

◆まとめとして後北条の行方は？

鎌倉幕府の執行北条氏を意識した北条氏への改姓であったので、小田原北条氏は「後北条(ごほうじょう)」と言われている。政敵上杉氏は改姓を認めなかった。やがて、秀吉・家康に代表される後期戦国時代に。

終わりに拙句を

枯野往く若き時代に思い馳せ
 秋深く北条五代学ぶ群 (湯川 勉)

予告!! 予告!! 予告!!

- 第59回歴史教室(散策) 第58回延期分
 テーマ 江戸城址探訪
 と き 3月26日(木) 雨天中止
 集 合 JR東京駅丸の内中央口
 改札前午前10時(時間厳守)
 昼 食 各自持参
 会 費 500円(保険・写真等)
 講 師 生方武羅夫・会員
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 または佐藤喜治045(361)0112
- 俳句サークル「こだま句会」
 (会員募集中)
 月例句会(毎月第2木曜日13時~)
 3月12日 4月9日
 ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
 指 導 太田土男先生(俳人協会)
 会 費 800円
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
 または井村友彦0463(81)4493
- 囲碁同好会
 月例会 毎月第1日曜日12時から
 場 所 「囲碁サロン」JR藤沢駅南口そば
 申込先 こだま会事務所045(212)3179
- てく・テクの会
 テーマ 高尾・さくら保存林の散策
 と き 4月20日(月)
 集 合 JR高尾駅北口集合11時
 申込先 こだま会事務所045(212)3179

事務局だより

- こだま会事務局は毎週火曜日(午前10時~午後4時)ボランティアで運営しています。
- 各事業の問合せや、相談ごとなどは、電話またはFAX、メールでどうぞ。
- 住所 231-8588
 横浜市中区日本大通り1
 県庁本庁舎6階
- 電話 045(212)3179(代)
 FAX 045(212)3178
- メール kodama@kodamakai.
 sakura.ne.jp



-43-



「月食」ラ・モーブ展
(2014年4月)



「Tea Time」
2009年神奈川県シニア
美術展優秀賞

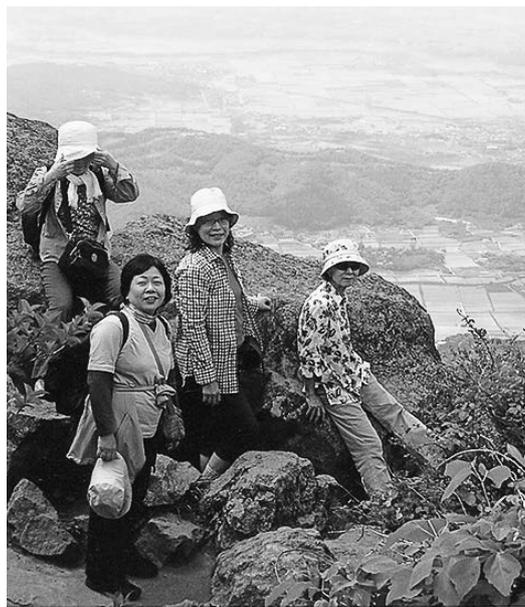


野間博子さん

私は公立立中学校の美術教諭として採用され、その後、県の職員として紅葉ヶ丘の青少年センター学芸部文化課に配属されました。

仕事は自分を大きく育ててくれた

野間 博子さん



「女体山頂」2014年筑波山スケッチ会

大きく育ててくれたと思っています。退職後は、還暦の年に友人と総ざらいの二人展をやり、一区切りつけたつもりでした。その後、母・父・相棒を失って身の周りを整理するつもりで、今の老人介護施設に入りました。今はここを起点に

の発表会に、こだま会の友人が聴きに来てくれ、強力にこだま会への入会を勧められました。入会して何が出来るということではないけれど、元気な仲間の動向を知ること、勇気と気力をもらえることを期待して入会させていただく

技術吏員として、中学生を対象に体験学習で美術を担当しました。その他に、ギャラリィ、美術映画会の企画を担当したり、婦人会館で婦人大学講座、児童文化課で児童図書室に勤務してきました。県の職員としては特殊で、仕事は地味でしたが、仕事は自分を大

動いていますが、一步都会を離れると足がなくて、とても不便を感じています。今は年に一回、同期会の展覧会、旅行会、山仲間との「らくちん山行」、ボランティア、合唱等に出歩く毎日です。そんな中で12月、メサイア合唱



ことにしました。今、77歳、どこが痛い、悪いではないけれど、年とともに全体が脆弱になってきています。無理と努力を程々に生き続けようと思っています。
* * *
住所：茨城県石岡市。
作品製作は2年に1枚くらいのペースです。

神奈川県職員九条の会が「総会と平和の集い」



神奈川県職員九条の会は昨年11月29日(土)、横浜市健康福祉センターで、「総会と平和の集い」を開きました。参加者は27人。

* * *

総会では、事務局長の佐伯義朗さんがこの1年の会のとりくみとして、憲法学習会や宣伝活動、他の九条の会と連携した活動等を報告。

県下の憲法をめぐる情勢では、『はだしのゲン』の学校図書館での規制、「憲法改正を求める会」の結成や「憲法論議推進意見書」の議決など、憲法改正運動が地域で始まっていることを強調。今後は、情勢に合った学習会や集いの開催、会員の拡大推進な

「紛争屋」の仕事が早くなることを願っている(伊勢崎氏)

どを提案。事務局次長の鳥居伸太郎さんが会計報告をし、それぞれ確認されました。

会員の活動では、相模原市在住の小川政則さんが、「相模原地域の平和運動」を報告。50年前、町田市で起こった米軍機墜落事件を思い起こ



し、「惨事のない平和で静かな空を」と平和像建立運動を広範な人たちととりくみ、賛同者や募金活動が進んでいることを強調。鳥居伸太郎さんは「田園調布九条の会」の戦争体験を語り継ぐ活動を報告しました。

* * *

続いて、国連PKOなどで活躍した伊勢崎賢治さん(現・東京外語大学大学院教授)を講師に学習会。テーマは「集団的自衛権をめぐる国際情勢と日本の行方」。プロジェクトを使って、複雑な国際情勢を分かり易く解説しました。

講演では、「近未来の集団的自衛権」や「共通の脅威の認識」、「紛争の対処の方策の一致」、「非武装での参戦」等々、目を白黒させる言葉が次々に登場。安倍内閣が打ち出した「集団的自衛権の15事例」については、「集団的自衛権の行使容認をすべき理由になるものが一つも含まれていない」と指摘しました。

世界各国の紛争現場で、紛争処理や武装解除の仕事をしてきた伊勢崎氏。ご自身の仕事を「紛争屋」と自認し、「私の仕事が一日も早くなくなることを願っている」とし、講演を終えました。伊勢崎氏の主張は、10月30日発行の『日本人は人を殺すに行くのかー戦場からの集団的自衛権入門』(朝日新書)で明らかです。ご一読をお奨めします。

(鳥海敏雄)

第31回 『こだま会総会のご案内』と役員改選について

とき 2015年6月27日(土) 10時~12時

ところ 本郷台 あーすぶらざ

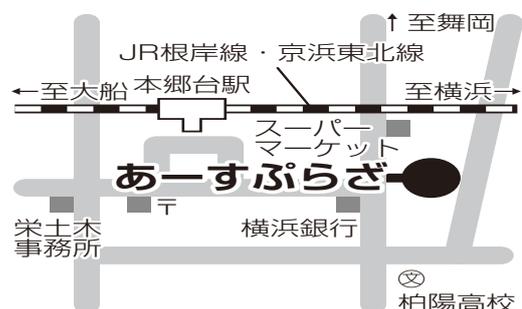
(横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1)

神奈川県立市民かながわプラザ1階)

☆終了後レストラン「メルヘン」で懇親会

☆今回は役員改選にあたります

詳細は次号『こだま会報』をご覧ください





開演から熱気に溢れていました
爆笑につぐ爆笑、つどいを盛り上げた年金者組合

社会参加が 元気のもと

高齢者の社会保障政策を

第10回 輝け高齢期 in さがみはら

「第10回輝け高齢期 in さがみはら」は11月13日(木)、「杜のホールはしもと」の会場いっぱい参加で開催されました。

主催者を代表して中村和子氏があいさつ。記念講演「社会参加で輝く高齢期」高齢社会を生きる健康法」と題して医学博士・鈴木宏幸氏

が、「社会的責任を持つことが認知症予防につながる。①高齢期の健康の考え方、②高齢社会を生きる健康法、③心の健康と人とのつながり、④認知症の理解と予防」の4つに分けて話しました。趣味や稽古ごと、社会問題などに参加することが高齢期の心身の健康に直結していると述べました。

基調報告では、集団的自衛権の行使容認を閣議決定、消費税増税、原発再稼働、国民生活破壊、戦争への道など、安倍政権の暴走を厳しく批判。高齢者の生きる希望を奪う社会保障政策でなく、憲法第13条、25条に定められた

こだま会の

人間ドックの受けられる場所が増え便利になりました

1 けいゆう病院健診センター

横浜市西区みなとみらい3-7-3
TEL 045-221-8291

2 京浜健診クリニック

横浜市金沢区柳町3-9
TEL 045-782-3222

3 藤沢総合健診センター

藤沢市鵜沼橋1-17-11(順天ビル内)
TEL 0466-23-3211

4 湘南健診センター

平塚市宝町10-4(スポーツプラザ神奈中1階)
TEL 0463-21-3811

5 かながわクリニック

横浜市中区元浜町4-32 県民共済馬車道ビル
TEL 045-201-8521

国の責務を果たし、高齢者を一人ぼっちにしないまちづくりを求めたい、と報告がありました。

午後の文化活動発表会は、年金者組合の独壇場。太鼓演奏、笑いをよんだズッコケ踊り「麦畑」、日本舞踊、笑いヨガ、南京玉すだれ、思わず「アロハ」と声援を送り、手を振った

フラダンス、猪俣ゆりさんと美根子さん親子の歌とピアノ演奏、松平晃さんのトランペット演奏、参加者450人の大合唱で盛り上がり、交流を深め、拍手と笑いに包まれた楽しい一日でした。

(稲本春雄)

©すでに11月18日の発送で人間ドックの健診についてご案内をお送りしていますが健診内容・料金等については、各健診機関にお問い合わせください。また、お申込みの際には、「こだま会会員」であることを必ず申し出てください。

食文化を楽しむ会

風邪に負けない 薬膳料理

冬に向かって風邪に負けない身体づくりをしようと12月4日(木)、横浜駅西口からチョット歩いたところにある横浜市西地区センターで、薬膳料理教室をしました。体の陰陽消長が緩慢になるこの季節から、温陽、祛寒、通経活絡の献立でした。調理指導は亀井禎子さん。

〈メニュー〉

- ① 栗と鳥も肉入り御飯
- ② れん根揚げ団子汁
- ③ シュウマイ
- ④ ほうれん草と椎茸、黄菊の酢のもの
- ⑤ 生姜サワー

*全部の造り方を紹介できないのでごく一般的、シュウマイの造り方を紹介します。意外と簡単です、お試しを。

〈シュウマイ〉

豚挽き肉200g、剥き海老100g、玉葱80g、茹で筍60g、干し椎茸2枚、シュウマイの皮1袋、調味料(醤油小匙0.5杯、酒小匙1杯、砂糖小匙1.5杯、オイスターソース小匙2杯)、椎茸と筍を煮る

汁(鳥がらスープ2/3カップ、醤油小匙2、砂糖小匙1)、飾り用のクコの実少々。

〈作り方〉

- ① 椎茸は水で戻し、石ずきを取り3〜4mm角に切る。筍も同じ大きさに切り煮汁がなくなるまで煮ておく。
- ② 海老は背ワタを取り、塩水(分量



- 外)で洗って水気を切り包丁で細かく叩く。
- 玉葱も粗いみじん切りにして、片栗粉をまぶしておく。
- ③ 挽肉に海老を合わせてよく混ぜ、調味料を加えて練るように混ぜ椎茸、筍の汁気を切って、玉葱も加えて混ぜる。
- ④ 蒸し器にたっぷりの湯を沸かしておく。
- ⑤ シュウマイの皮を手のひらに置き、食事前のナイフで種を真ん中にのせて包む。親指とほかの指で輪を作るようにしてシュウマイを持ち、周りを絞るようにして筒形にし、上を平らにナイフで整える。布巾かクッキングシートを敷いた蒸し器の上段に並べる。シュウマ

今年こそ、杉本さん、布施木さんを職場に戻そう!



1月9日、県職労連旗開きが開催されました。この旗開きに神奈川フィル分会室内合奏団の演奏がありました。「今年こそ、杉本さん、布施木さんを職場に戻そう!」と勝利を誓いました。

県知事選に勝利を!

今年の4月、神奈川県知事選挙が行われます。県政において現知事は大企業優先の特区推進にみられるように、県民生活そっちのけで、アベノミクスの推進を地域からすすめていきたいと思います。

県民が主人公で、平和を守り、高齢者を大切に、子育てしやすい、若者の雇用の充実、将来に希望がわく県政の実現のために、県職労連も参加している「平和で明るい神奈川県政をつくる会」の擁立する候補者の勝利に力をあわせていきましょう。

⑥ 蒸し器の蒸気が上がってきたら上段をセットし、中火で約10分蒸す。皮が透明になってくれば出来上がり。
◇ ◇ ◇
た。ほこほことあったかくなりまし
(鳥居伸太郎)

俳句サークル・こだま句会

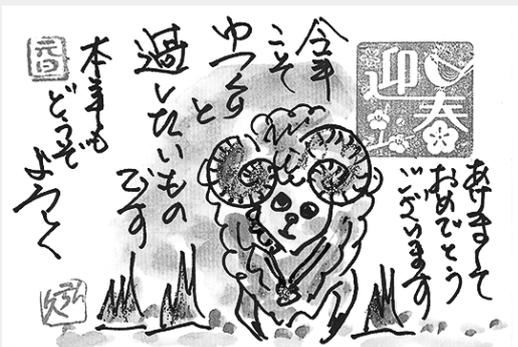
冬隣・奥の細道吟行

俳句サークル・こだま句会は昨秋、2泊3日の吟行にでかけました。『奥の細道』で松尾芭蕉が訪れた宮城野を歩き、芭蕉を追慕する旅でした。参加者は10人。仙台駅から常磐線の岩沼駅で下車。駅前の芭蕉像を囲み、早速句作を試みました。

蕉翁の冬空に立つ美男かな
三井 光子

駅からタクシーに分乗し、竹駒神社へ。当社は日本三大稲荷のひ

絵手紙



奥津弘久さんの作品

とつとして有名な大社です。芭蕉が曾良を伴いここを訪れたのは、元禄2年(1689)2月でした。大鳥居をくぐると、芭蕉百回忌に建てられた古色蒼然とした句碑があります。

さくらより松は二木を三月越
芭蕉

神社から次の目的地の二木まで、徒歩で約5分。曾良の『曾良旅日記』では侍屋敷が多く並んでいたようですが、今でもその雰囲気が残る区画が続いています。しかし、その石塀には先の大震災の

名残が残っています。崩れ塀地震の記憶や振り返り花

田中 一男

二木にある「武隈の松」は、古来より著名な歌枕の地です。『奥の細道』は歌枕を巡る旅としました。芭蕉のあこがれの地でもありました。現在では7代目という二木の古松が、豊かな枝を広げています。

落紅葉二木の松根に二三葉
木村 武子

夕食は仙台。老舗の居酒屋『おでん三吉』で摂りました。震災の

被害で一時は廃業を考えた当主ですが、多くの顧客に支えられ繁盛していました。

鍋の味めでつつ箸のせわしさを

ひげ根まで食べると酔って鍋奉行

友井 眞言

翌日は多賀城址を尋ねました。古代の政庁跡や、芭蕉が憧れた「壺の碑」などがあります。小春日のなか、ガイドさんの案内で散策です。

名草枯る小道たどりて覆堂

多賀城に盛衰の歴史年の暮

坂 守

旅の最終日は塩釜神社。東北鎮護、陸奥国一宮の古社で、広大な境内があります。

冬紅葉塩釜さまを隠しけり

みちのくの旅の終わりに冬桜

三井 光子

松尾佐知子

仙台駅に戻り、市内を散策。冬隣の市内は買い物客や観光客で賑わっていました。

冬木立青葉通りに人の息

鳥海 敏雄

(文・田中一男)



▲岩沼駅前の芭蕉像を囲み



▲二木の松